

### 1. フランク・カコレレ・ブワンバレ

Frank Kakolele BWAMBALE

(別名)フランク・カコレレ(Frank Kakorere), フランク・カコレレ・ブワンバレ(Frank Kakorere Bwambale)

(旅券, 人定情報) コンゴ民主共和国国籍。2011年6月現在, 任命されていないもののコンゴ民主共和国国軍(FARDC)将軍。2008年1月に人民防衛のための国民会議(CNDP)を離脱。2011年6月現在, キンシャサ在住。2010年以降, カコレレは2011年3月のコンゴ民主共和国政府の武力紛争終了地域の安定化及び再建計画(STAREC)のゴマ及びベニへのミッションを含む, STARECのための活動に関わっている模様。

(指定の根拠)RCD-ML(コンゴ民主連合・解放運動)元指導者。国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団の一つであるRCD-MLの政策に影響力を行使するとともに, RCD-ML軍の活動の指揮及び統制を維持しており, 武器禁輸措置に違反する武器の不正取引について責任を負っている。

### 2. ジェローム・カクワヴ・ブカンデ

Jérôme KAKWAVU BUKANDE

(別名)ジェローム・カクワヴ(Jérôme Kakwavu), ジェローム司令官(Commandant Jérôme)

(生年月日・出生地)コンゴ民主共和国ゴマ(Goma)

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。2004年12月コンゴ民主共和国国軍将軍に昇級。2011年6月現在, キンシャサのマカラ刑務所に留置。2011年3月25日, キンシャサ軍事高等裁判所は戦争犯罪の罪でカクワヴの裁判を開始。

(指定の根拠)UCD/FAPC(民主主義のためのコンゴ人連合・コンゴ人民武装勢力)元議長。FAPCは武器流通の主要な輸送経路であるウガンダ・コンゴ民主共和国間の国境を不法に統制。同人は, 武器の不正取引に関与し, 武器禁輸措置に違反していたFAPC軍に対して, FAPCの議長として政策、指揮及び統制に影響力を行使した。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2002年のイツリにおける児童の徴兵及び使用に責任があった。性的暴行を含む重大な罪で告発され, 安全保障理事会が2009年の訪問の際にその事案を政府に対して注意喚起した5人のFARDC上級士官の一人。

### 3. ジェルマン・カタンガ

Germain KATANGA

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。2004年12月にコンゴ民主共和国国軍將軍に任命。2007年10月18日, コンゴ民主共和国政府より国際刑事裁判所へ引き渡し。2009年11月に同人の裁判開始。

(指定の根拠)FRPI 幹部。武器禁輸措置に違反して武器の輸送に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用に責任があった。

#### 4. トマ・ルバンガ

Thomas LUBANGA

(生年月日・出生地)コンゴ民主共和国イツリ(Ituri)

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。UPC/L(コンゴ愛国同盟ルバンガ派)による人権の侵害に関与したため2005年3月よりキンシャサにて拘留。2006年3月17日, コンゴ民主共和国当局により国際刑事裁判所(ICC)に移送された。2009年1月に同人の裁判が開始され, 2011年中には終了することとなっている。

(指定の根拠)UPC/L 議長。UPC/L は国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用に責任があった。

#### 5. カワ・パンガ・マンドロ

Khawa Panga MANDRO

(別名)カワ・パンガ(Kawa Panga), カワ・パンガ・マンドロ(Kawa Panga Mandro), カワ・マンドロ(Kawa Mandro), イブ・アンドウル・カリム(Yves Andoul Karim), マンドロ・パンガ・カワ(Mandro Panga Kahwa), イブ・カワ・パンガ・マンドロ(Yves Khawa Panga Mandro), 「チーフ・カワ(Chief Kahwa)」, 「カワ(Kawa)」

(生年月日・出生地)1973年8月20日, コンゴ民主共和国ブニア(Bunia)

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍, 2005年4月からイツリ和平プロセス妨害のためにブニア(Bunia)市において刑務所に留置。2005年10月にコンゴ民主共和国当局により逮捕され, キサンガニの上訴裁判所で無罪判決が下されたが, その後人道に対する罪, 戦争犯罪, 殺人, 加重暴行及び殴打の新たな容疑でキンシャサの司法当局に移送される。2011年6月現在, キンシャサのマカラ中央刑務所に留置。

(指定の根拠)国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであるPUSIC(コンゴ統一性・領土保全党)元党首。武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2001年から2002年までの児童の徴兵及び使用に責任があった。

## 6. イルタ・ドゥグラス・ムパモ

Iruta Douglas MPAMO

(別名)ムパノ(Mpano), ドゥグラス・イルタ・ムパモ(Douglas Iruta Mpamo)

(生年月日・出生地)1965年12月28日, マシシ(Masisi), バシヤリ(Bashali), 1965年12月29日, コンゴ民主共和国(旧ザイール)ゴマ(Goma), ウヴィラ(Uvira)

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。2011年6月現在, ルワンダのギセニ(Gisenyi)に居住。大湖地域ビジネス会社(Great Lakes Business Company: GLBC)が運航する2機の航空機の墜落以降, 職業は不明。

(指定の根拠)大湖地域航空会社(Compagnie Aérienne des Grands Lacs)及び大湖地域ビジネス会社所有者及びマネージャーであり, 同社の航空機は国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵に支援を提供するために使用された。また, 飛行及び積荷に関する情報を偽装した責任があり, それは武器禁輸措置の違反を可能にするために行われた模様である。

## 7. シルベストル・ムダクムラ

Sylvestre MUDACUMURA

(別名)「ラドジャ(Radja)」, 「ムペンジ・ベルナール(Mupenzi Bernard)」, 「ムペンジ少将(General Major Mupenzi)」, 「ムダクムラ将軍(General Mudacumura)」

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍, ルワンダ解放民主勢力の軍事部門(FDLR-FOCA)の軍事司令官であり, 政治部門の第一副議長兼 FOCA 高等司令部長官として, ヨーロッパにおけるルワンダ解放民主勢力(FDLR)指導者らの逮捕以降は全般的な軍事的及び政治的な指揮機能を統合。2011年6月現在, 北キブ(North Kivu)州ワリカレ(Walikale)郡ボゴイ(Bogoyi)付近のキコマ(Kikoma)の森を拠点とする。

(指定の根拠)FDLRの現地司令官であり, 国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与している FDLR 軍の政策に影響力を行使するとともに, FDLR 勢力の活動に指揮及び統制を維持している。ムダクムラ(またはその配下)は, 2009年5月のブスルンギ虐殺時を含め, ドイツにいる FDLR 指導者のムルワナシ・アカと電話連絡を取っており, 2009年のウモジャ・ウエトウ及びキミア II 作戦時に軍事司令官のギヨーム少佐と電話連絡を取っていた。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2002年から2007年までの北キブ州における同人の指揮下の部隊による27件の児童の徴兵及び使用に責任があった。

## 8. イグナス・ムルワナシ・アカ

Dr. Ignace MURWANASHY- AKA

(別名)イグナス(Ignace)

(生年月日・出生地)1963年5月14日ルワンダ共和国ブテラ(Butera), ルワンダ共和国ブタレ(Butare), ンゴマ(Ngoma)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。2009年11月17日にドイツ当局に逮捕された。ガストン・イヤムレミエ(別名ルムリ)にFDLR-FOCA議長を交代。2008年及び2009年のコンゴ民主共和国におけるFDLR部隊による戦争犯罪及び人道に対する犯罪に関するムルワナシ・アカの裁判は2011年5月4日にドイツの裁判所において開始。

(指定の根拠)FDLR議長及びFDLR軍の最高司令官であり, 国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであるFDLR軍の政策に影響力を行使するとともに, FDLRの活動に指揮及び統制を維持しており, 武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。FDLR軍事部門司令官と電話連絡を取っている(2009年5月のブスルンギ虐殺時を含む)。高等司令部に対し軍事命令を出した。FDLR部隊に対する武器及び弾薬の移送の調整や使用のための特定の指示の伝達に関与。FDLR支配下にある地域における天然資源の違法売却を通じて得た多額の資金を運用している。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, FDLRの議長及び軍司令官としてコンゴ民主共和国東部における児童の徴兵及び使用に責任があった。

## 9. ジュール・ムテブチ

Jules MUTEBUTSI

(別名)ジュール・ムテブシ(Jules Mutebusi), ジュール・ムテブジ(Jules Mutebuzi), ムテブチ大佐(Colonel Mutebutsi)

(生年月日・出生地)1964年, コンゴ民主共和国南キブ州ミネンブウエ(Minembwe)

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。FARDCの第十地域の元地域軍司令官補であり, 2004年4月規律違反により除隊。2007年12月, 同人は, コンゴ民主共和国側に越境しようとしたところをルワンダ当局により逮捕されて以降, 国外移動を禁じられてキガリ(Kigali)で生活している。

(指定の根拠)他の元RCD-G(コンゴ民主連合)の造反分子とともに, 2004年5月ブカブ市を武力占領。武器禁輸措置に違反して, コンゴ民主共和国国軍の組織外から武器を受領し, 国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵に武器を供給することに関与。

## 10. マチュウ・キュイ・ングジョロ

Mathieu Chui NGUDJOLO

(別名)キュイ・ングジョロ(Cui Ngudjolo)

(旅券, 人定情報)2003年10月, 国連コンゴ民主共和国ミッション(MONUC)によりブニア(Bunia)市において逮捕。2008年2月7日にコンゴ民主共和国政府によりICCへ引き渡される。

(指定の根拠)FNI(国民主義・統合主義戦線)参謀長, FRPI(コンゴ愛国的抵抗戦線)元参謀長。国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与した責任があるFRPI軍の政策に影響力を行使するとともに, FRPIの活動に指揮及び統制を維持している。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は2006年にイツリにおける15歳以下の児童の徴兵及び使用に責任があった。

#### 11. フロリベール・ンガブ・ンジャブ

Floribert Ngabu NJABU

(別名)フロリベール・ンジャブ(Floribert Njabu), フロリベール・ンジャブ(Floribert Njabu), フロリベール・ンガブ・ンジャブ(Floribert Ngabu Njabu)

(旅券, 人定情報)FNI(国民主義・統合主義戦線)による人権侵害に関与したため, 2005年3月からキンシャサにて自宅拘留。2011年3月27日にハーグに移送され, ICCにてジェルマン・カタンガ及びマシュー・ングジョロの裁判での証言を行った。

(指定の根拠)FNI議長。FNIは国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つ。武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。

#### 12. ローラン・ンクンダ

Laurent NKUNDA

(別名)ンクンダ・ミヒゴ・ローラン(Nkunda Mihigo Laurent), ローラン・ンクンダ・ブワタレ(Laurent Nkunda Bwatare), ローラン・ンクンダバトウワレ(Laurent Nkundabatware), ローラン・ンクンダ・マホロ・バトウワレ(Laurent Nkunda Mahoro Batware), ローラン・ンクンダ・バトウワレ(Laurent Nkunda Batware), 「議長(Chairman)」, 「ンクンダ将軍(General Nkunda)」, 「パパ・シックス(Papa Six)」

(生年月日・出生地)1967年2月6日, コンゴ民主共和国北キブ州ルツル(Rutshuru), 1967年2月2日

(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。コンゴ民主連合ーゴマ(RCD-G)元将軍。2006年, 人民防衛のための国民議会(CNDP)創設者。RCD-G上級幹部(1998-2006年)。ルワンダ愛国戦線(RPF)士官(1992-1998年)。2009年1月にルワンダでルワンダ当局により逮捕され, CNDP司令官を交代。以降, ルワンダのキガリで自宅拘留。コンゴ民主共和国東部で犯した犯罪により, コンゴ民主共和国政府がンクンダの引渡

しを求めているものの、ルワンダは拒否。2010年、ンクンダによる違法拘留の訴えは、本件は軍事裁判所で審査されるものとして、ギセニにあるルワンダ裁判所で棄却される。ンクンダの弁護団はルワンダ軍事裁判所での手続きを開始。CNDPの一部兵士に対して影響力を保持。

(指定の根拠)他の元RCD-G造反分子とともに2004年5月ブカブ市を武力占領。武器禁輸措置に違反して、コンゴ民主共和国国軍外から武器を受領。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2009年までの北キブにおける同人の命令下の部隊による264件の児童の徴兵及び使用に責任があった。

### 13. ジェームズ・ニャクニ

James NYAKUNI

(旅券、人定情報)ウガンダ国籍

(指定の根拠)ジェローム・カクワヴの取引相手であり、特にコンゴ民主共和国・ウガンダ国境で密輸を行っており、未検査トラックによる武器・軍事関連物資の密輸も疑われている。武器禁輸措置に違反し、また国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵へ支援を提供(それらに軍事的に活動させる資金の援助を含む)。

### 14. ディウドネ・オジア・マジオ

Dieudonné OZIA MAZIO

(別名)オジア・マジオ(Ozia Mazio),「オマリ(Omari)」,「ミスター・オマリ(Mr.Omari)」

(生年月日・出生地)1949年6月6日,コンゴ民主共和国アリワラ(Ariwara)

(旅券,人定情報)コンゴ民主共和国国籍,アル(Aru)地区コンゴ企業連合(FEC)会長。2008年9月23日,アリワラ(Ariwara)にて死去したと言われている。

(指定の根拠)ジェローム司令官及びFAPC(コンゴ人民武装勢力)とともに金融謀略し,コンゴ民主共和国・ウガンダ国境で密輸を行い,ジェローム司令官及びその部隊に資材及び現金を利用可能にさせる。国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵への支援提供によるものを含め武器禁輸措置に違反。

### 15. ボスコ・タガンダ

Bosco TAGANDA

(別名)ボスコ・ンタガンダ(Bosco Ntaganda),ボスコ・ンタジェンダ(Bosco Ntagenda),タガンダ将軍(General Taganda),「リディア(Lydia)」(APR参加時),「ターミネーター(Terminator)」,タンゴ(Tango),コールサイン「タンゴ ロメオ(Tango Romeo)」,又は「タンゴ(Tango)」,「少佐(Major)」

(生年月日・出生地)1973年～1974年, ルワンダ, ビゴグウェ(Bigogwe)  
(旅券, 人定情報)コンゴ民主共和国国籍。ルワンダで生まれる。幼少時, 北キブ州(North Kivu)マシシ(Masisi)郡ニヤミタバ(Nyamitaba)に転居。2011年6月現在, コンゴ民主共和国ゴマ(Goma)に居住し北キブ州マシシ郡ングング(Ngungu)地区で大規模農場を所有。イツリ和平合意を受け, 2004年12月11日の大統領令により FARDC 准将に指名。CNDP の元参謀長であり, 2009年1月のローラン・ンクンダの逮捕以降, CNDP の軍事司令官。2009年1月以降, 南北両キブ州における FDLR 掃討作戦である「ウモジャ・ウエトウ」, 「キミアⅡ」, 「アマニ・レオ」の事実上の司令官補。

(指定の根拠)コンゴ愛国同盟ルバンガ派(UPC/L)軍事司令官。国連安保理決議第1493号(2003年)20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり, 武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与している UPC/L の政策に影響力を行使するとともに, UPC/L の活動に指揮及び統制を維持。同人は, 2004年12月に FADRC 将軍に任命されたが昇進を拒否したため, 国軍の外に留まっている。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると, 同人は, 2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用のほか, 2002年から2009年までの北キブにおける155件の児童の徴兵及び使用に直接及び(もしくは)命令の責任があった。同人は, CNDP 参謀長として, 2008年11月のキワンジャにおける虐殺の直接及び命令の責任があった。

#### 16. 全ては平和と発展のために(非政府組織(NGO))

TOUS POUR LA PAIX ET LE DEVELOPPEMENT (NGO)

(略称)TPD

(活動拠点)コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu)ゴマ(Goma)

(特定情報)ゴマ拠点(Goma), 南キブ州(South Kivu), 東カサイ州(Kasai Oriental), 西カサイ州(Kasai Occidental), マニエマ州(Maniema)に地方委員会。公式には2008年以降全ての活動を停止。実際には, 2011年6月現在, TPD 事務所は活動中であり, 国内避難民の帰還, 地域和解イニシアティブ, 土地問題解決等の問題に関与。TPD 会長はユージーン・セルフリ(Eugene Serufuli), 副会長はサヴェリナ・カロンバ(Saverina Karomba)。北キブ州議員のロベール・セニンガ(Robert Seninga)及びベルタン・キリヴィタ(Bertin Kirivita)が主要メンバーに名を連ねる。

(指定の根拠)RCD-G(コンゴ民主連合)に対する支援の提供, 特に武器・部隊を輸送するためのトラックの供与, 及び, 2005年初頭の北キブ州マシシ及びルツル住民の一部に配布するための武器の輸送によって, 武器禁輸措置に違反。

#### 17. 削除(2008年)

## 18. ストラトン・ムソニ

Straton MUSONI

(別名)IO ムソニ(IO Musoni)

(生年月日・出生地)1961年4月6日(1961年6月4日の可能性もあり), ルワンダ共和国, キガリ, ムガムバジ(Mugambazi, Kigali)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。2009年11月17日にドイツ当局に逮捕され, 2008年及び2009年にコンゴ民主共和国においてFDLR部隊が犯した戦争犯罪及び人道に対する犯罪でムソニの裁判が2011年5月4日にドイツの裁判所にて開始。FDLR第一副議長をシルベストル・ムダクムラに交代。

(指定の根拠)コンゴ(民)で活動している外国武装集団であるFDLRの指導的役割を通じ, これらの集団に所属する兵士の武装解除及び自発的な帰還又は再定住を妨害しており, 国連安保理決議第1649号(2005年)に違反している。

## 19. ウガンダ・コマーシャル・インペックス(UCI)有限会社

UGANDA COMMERCIAL IMPEX (UCI) LTD

(住所)ウガンダ共和国, カンパラ, キセメンテ, カジョカ通り(Kajoka Street, Kisemente, Kampala, Uganda), 電話番号:+256-41-533-578/9, 他の住所:ウガンダ共和国, カンパラ, 私書箱22709

(特定情報)金輸出企業(元取締役「チュニ(Chuni)」として知られるJ.V.ロディア(J.V.LODHIA)及びその息子のクナル・ロディア(Kunal LODHIA)がいる)。

2011年1月, ウガンダ当局は制裁委員会に対し, 金融資産の免除を受けて, エミレーツ・ゴールドがUCIの債務をカンパラのクレーン銀行(Crane Bank)に支払い, 口座を最終的に閉鎖した旨通告した。UCI前所有者であるJ.V.ロディア及びその息子のクナル・ロディアはコンゴ民主共和国東部の金の購入に引き続き関与している。

(指定の根拠)UCIは, 民兵と密接に関連するコンゴ民主共和国における貿易業者との通常の商業上の関係を通じて金を購入した。これは, 国連安保理決議第1493号(2003年)及び第1596号(2005年)の武器禁輸措置に違反する, 不法な武装勢力への「支援の提供」を構成する。

## 20. マチャンガ有限会社

MACHANGA LTD

(住所)ウガンダ共和国, カンパラ(Kampala)

(特定情報)金輸出企業(取締役:ラジェンドラ・クマール・ヴァヤ(Rajendra Kumar Vaya)及びヒレンドラ・M・ヴァヤ(Hirendra M. Vaya))。2010年, エミレーツ・ゴールドの口座にあるマチャンガ有限会社の資産が英国ノヴァ・スコシア・モカッタ(Nova Scotia Mocatta)銀行により凍結される。マチャンガ有限会社の前所有者であるラジェンドラ・



クマール(Rajendra Kumar)及びその弟のヴィプール・クマール(Vipul Kumar)はコンゴ民主共和国東部からの金の購入に引き続き関与している。

(指定の根拠)マチャंगाは、民兵と密接に関連するコンゴ民主共和国の貿易業者との通常の商業上の関係を通じて金を購入した。これは、国連安保理決議第 1493 号(2003 年)及び第 1596 号(2005 年)の武器禁輸措置に違反する、不法な武装勢力への「支援の提供」を構成する。

## 21. ブテンボ・エアライン(BAL)

BUTEMBO AIRLINES

(住所)コンゴ民主共和国, ブテンボ(Butembo)

(特定情報)ブテンボを拠点に運行している個人所有の航空会社。2008 年 12 月以降, BAL はコンゴ民主共和国において航空機運航免許をもはや有していない。

(指定の根拠)キソニ・カンバレ(Kisoni KAMBALE)(2007 年 7 月 5 日死亡, 2008 年 4 月 24 日本件リストの記載から外される)が, モングブワル(Mongbwalu)・ブテンボ間で, FNI(国民主義・統合主義戦線)の金, 食糧及び武器を輸送するために, 同人の航空会社を使用した。これは, 国連安保理決議第 1493 号(2003 年)及び第 1596 号(2005 年)の武器禁輸措置に違反する, 不法な武装勢力への「支援の提供」を構成する。

## 22. コンゴメット貿易社

Congomet Trading House

(住所)コンゴ民主共和国、北キブ州ブテンボ(Butembo)

(特定情報)北キブ州ブテンボにおける金の貿易業者としてはもはや存在しない。

(指定の根拠)同社(かつてのコンゴコム(Congocom))は、キソニ・カンバレ(Kisoni KAMBALE)(2007 年 7 月 5 日死亡, 2008 年 4 月 24 日, 本件リストの記載から外される)に所有されていた。キソニ・カンバレは、FNI(国民主義・統合主義戦線)により管理されているモングブワル(Mongbwalu)地区の金の生産をほぼすべて所有していた。FNI は、この生産に課される税金から相当な収入を得ていた。これは、国連安保理決議第 1493 号(2003 年)及び第 1596 号(2005 年)の武器禁輸措置に違反する、不法な武装勢力への「支援の提供」を構成する。

## 23. 大湖地域航空会社(コンパニー・アエリエヌ・デ・グラン・ラック:CAGL)及び大湖地域ビジネス会社(グレイト・レイクス・ビジネス・カンパニー:GLBC)

COMPAGNIE AERIENNE DES GRANDS LACS, GREAT LAKES BUSINESS COMPANY

(住所)CAGL:コンゴ民主共和国, ゴマ, モブツ大統領通り(Avenue President Mobutu, Goma)(CAGL は, ルワンダ共和国ギセニ(Gisenyi)にも事務所を所有), GLBC:コン

ゴ民主共和国, ゴマ(Goma), 私書箱 315(GLBC は, ルワンダ共和国ギセニ(Gisenyi)にも事務所を所有)

(特定情報)2008年12月現在, GLBC は運航可能な航空機をもはや有していないが, 国連の制裁にかかわらず 2008年に数機が飛行を継続した。

(指定の根拠)CAGL 及び GLBC は, 既に国連安保理決議第 1596号(2005年)の制裁措置の対象とされている個人であるドゥグラス・ムパモ(Douglas MPAMO)により所有される会社である。CAGL 及び GLBC は, 国連安保理決議第 1493号(2003年)及び第 1596号(2005年)の武器禁輸措置に違反する, 武器及び弾薬の輸送を行っていたことがある。

#### 24. カリクスト・ンバルシマナ

Callixte MBARUSHIMANA

(生年月日・出生地)1963年7月24日, ルワンダ北部県ルヘンゲリ, ンドウス(Ndusu/Ruhengeri)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。2009年に南北両キブ州でFDLR部隊が犯した戦争犯罪及び人道に対する罪に対するICCの逮捕状により2010年10月3日にパリで逮捕され, 2011年1月25日にハーグに移送された。

(指定の根拠)逮捕まで, FDLRの事務局長及びFDLR軍事高等司令部副長官。コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の政治的・軍事的指導者として, 国連安保理決議第1857号(2008年)主文段落4(b)の規定にある, 戦闘員の武装解除, 自発的帰還及び再定住を妨害している。

#### 25. スタニスラス・ンゼイマナ

Stanislas NZEYIMANA

(別名)デオグラティアス・ビガルカ・イザバヨ(Deogratias Bigaruka Izabayo), ビガルカ(Bigaruka), ビグルラ(Bigurura), イザバヨ・デオ(Izabayo Deo), ジュール・マテソ・ムランバ(Jules Mateso Mlamba)

(生年月日・出生地)1966年1月1日(推定1967年または1966年8月28日), ルワンダ, ムグサ(ブタレ)(Mugusa (Butare))

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。FDLR-FOCAの副司令官。2011年6月現在, 北キブ州ムコベルワ(Mukoberwa)を拠点とする。

(指定の根拠)コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者として, 国連安保理決議第1857号(2008年)4(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除, 自発的帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが収集し, 2008年2月13日付けの報告書で詳細に記述されている証拠によれば, FDLR-FOCA から奪回された少女らは, それまで誘拐され性的暴

行を受けていた。2007 年半ばから、それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していた FDLR-FOCA は、10 歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女らのうち、年少者は護衛として、年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第 1857 号(2008 年)4(d)及び(e)の規定に違反している。

## 26. パシフィック・ンタウングカ

Pacifique NTAWUNGUKA

(別名)オメガ大佐(Colonel Omega), ンゼリ(Nzeri), イスラエル(Israel), パシフィック・ンタウングラ(Pacifique Ntawungula)

(生年月日・出生地)1964 年 1 月 1 日, 推定 1964 年, ルワンダ, ギセニ, ガセケ(Gisenyi, Gaseke)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。FDLR-FOCA の北キブ州作戦部門「ソノキ」司令官。2011 年 6 月現在, 北キブ州マテンベ(Matembe)を拠点とする。エジプトで軍事訓練受講。

(指定の根拠)FOCA(FDLR(ルワンダ解放民主勢力)の軍事部門)の第一師団司令官。コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者として, 国連安保理決議第 1857 号(2008 年)4(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除, 自発的帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが照合し 2008 年 2 月 13 日付けの報告書で詳述されている証拠によれば, FDLR-FOCA から奪回された少女らは, それまで誘拐され性的暴行を受けていた。2007 年半ばから, それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していた FDLR-FOCA は, 10 歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女らのうち, 年少者は護衛として, 年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第 1857 号(2008 年)4(d)及び(e)の規定に違反している。

## 27. レオポルド・ムジャンベレ

Leopold MUJYAMBERE

(別名)ムセニエリ(Musenyeri), アシール(Achille), フレール・ペトルス・イブラヒム(Frere Petrus Ibrahim)

(生年月日・出生地)1962 年 3 月 17 日(推定 1966 年), ルワンダ, キガリ(Kigali)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。2011 年 6 月現在, FDLR-FOCA の「アマゾン」と呼ばれる南キブ州における作戦部門の司令官。南キブ州のムウエンガ(Mwenga)郡南東部ニヤカレケ(Nyakaleke)を拠点とする。

(指定の根拠)FOCA(FDLR(ルワンダ解放民主勢力)の軍事部門)の第二師団・予備隊司令官。コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者で, 国連安保理決議第 1857 号(2008 年)4(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除, 自発的

帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが照合し2008年2月13日付けの報告書で詳述されている証拠によれば、FDLR-FOCAから奪回された少女らは、それまで誘拐され性的暴行を受けていた。2007年半ばから、それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していたFDLR-FOCAは、10歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女のうち、年少者は護衛として、年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第1857号(2008年)4(d)及び(e)の規定に違反している。

## 28. ガストン・イヤムレミエ

Gaston IYAMUREMYE

(別名)ルムリ(Rumuli), ビリングロ・ビクトール・ルムリ (Byiringiro Victor Rumuli), ビクトール・ルムリ (Victor Rumuri), ミシェル・ビリングロ (Michel Byiringiro)

(生年月日・出生地)1948年, ルワンダ共和国北部県ムサンゼ(Musanze)郡, 又はルヘンゲリ(Ruhengeri)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。FDLR議長兼FDLR-FOCA第二副議長。2011年6月現在, コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu)カロンゲ(Kalonge)を拠点とする。准将。

(指定の根拠)国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループを含む複数の情報源によると, ガストン・イヤムレミエはFDLR第二副議長としてFDLRの軍事的及び政治的指導部の中心人物の一人。ガストン・イヤムレミエはイグナス・ムルワナシ・アカ(FDLR議長)の事務所を2009年12月までコンゴ民主共和国キブアで運営した。

## 29. フェリシアン・ンサンズブキレ

Félicien NSANZUBUKIRE

(別名)フレッド・イラケザ (Fred Irakeza)

(生年月日・出生地)1967年, ルワンダ共和国ムラマ(Murama), キニニヤ (Kinyinya), ルブンゴ (Rubungo), キガリ (Kigali)

(旅券・人定情報)ルワンダ国籍。同人はFDLR-FOCAの第一大隊長であり, コンゴ民主共和国南キブ州ウビラ・サンゲ (Uvira-Sange)地区を拠点とする。少なくとも1994年からFDLRの構成員であり, 1998年10月以降はコンゴ民主共和国東部で活動している。2011年6月現在, 南キブ州ムウエンガ(Mwenga)郡マグンダ地区(Magunda)を拠点とする。

(指定の根拠)フェリシアン・ンサンズブキレは, 少なくとも2008年11月から2009年4月までの間にタンガニカ湖を通じてタンザニア共和国から南キブ州のウビラ(Uvira)及びフィジ(Fizi)地区に拠点を置くFDLR部隊への武器弾薬の密輸を監督・調整した。

### 30. イノサン・ジムリンダ

Innocent ZIMURINDA

(別名)ジムリンダ(Zimulinda)

(生年月日・出生地)1972年9月1日又は1975年, コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu) マシシ(Masisi)郡ングング(Ngungu)

(現在地)コンゴ民主共和国北キブ州(North Kivu) マシシ(Masisi)郡

(旅券・人定情報)コンゴ民主共和国国籍。FARDC大佐。2009年に中佐としてFARDCの一員となり, ングング地区を拠点としてFARDCの「キミアⅡ」作戦の旅団指揮官を務める。2009年7月, ジムリンダは大佐に昇任しングングにおけるFARDCの部隊司令官に就任し, 「キミアⅡ」及び「アマニ・レオ」作戦ではキチャンガにおける部隊司令官となる。ジムリンダは2010年12月31日の大統領によるFARDC高官任命時には姿を現していないものの, 事実上, キチャンガにおいてFARDC第22部隊の指揮を継続し, 新たに付与されたFARDCの階級と制服を着用している。ポストコンタガンダに忠実な人物。2010年12月, ジムリンダの命令によって兵士が実行した徴兵活動が公開レポートで告発された。

(指定の根拠)複数の情報源によると, イノサン・ジムリンダ中佐はFARDC第231旅団司令官の一人としての資格をもって, 自らが下した命令によって, 2009年4月のシャリオ(Shalio)地区における軍事作戦で主に婦女子を含む100名以上のルワンダ難民を殺戮した。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループの報告では, イノサン・ジムリンダ中佐は2009年8月29日にカレヘ(Kalehe)において自らの支配下から3名の児童の釈放を即時拒否した姿が目撃されている。

複数の情報源によると, イノサン・ジムリンダ中佐は, CNDPのFARDCへの統合前, キワンジャ(Kiwanja)地域にて婦女子を含む89名の非戦闘員が殺戮された2008年11月のCNDPによる作戦に参加した。

2010年3月, コンゴ民主共和国東部で活動する51の人権団体はイノサン・ジムリンダ中佐が2007年2月から同年8月までの間, 婦女子を含む大勢の非戦闘員の殺害を伴う複数の人権侵害の責任者であると主張した。同告発の中で, イノサン・ジムリンダ中佐は数多くの女性・少女の強姦の責任者としても非難された。2010年5月21日の児童と紛争に関する国連事務総長特別代表の声明によると, イノサン・ジムリンダ中佐はキミアⅡ作戦の最中を含め児童兵の恣意的処刑に関与した。同声明によると, 国連コンゴ民主共和国ミッション(MONUC)が部隊から未成年を選別するための機会を拒否した。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループによると, イノサン・ジムリンダ中佐は自らの指揮下の部隊における児童兵の徴用及び管理に関し直接的な命令責任を負っている。

### 31. レオドミール・ムガラグ

Leodomir MUGARAGU

(別名)マンジ・レオン (Manzi Leon), レオ・マンジ (Leo Manzi)

(生年月日・出生地)1954年又は1953年, ルワンダ共和国キガリ(Kigali), 又はルワンダ共和国北部県ルシャシ (Rushashi)

(旅券, 人定情報)ルワンダ国籍。FDLR-FOCA 運営担当参謀長。2011年6月現在, 北キブ州(North Kivu)ワリカレ郡(Walikale)ボゴイ(Bogoyi)のキコマ(Kikoma)の森に位置するFDLR本部を拠点とする。

(指定の根拠)公開情報及び公式報告によると, レオドミール・ムガラグはFDLRの軍事部門であるFOCAの参謀長である。公式報告によると, ムガラグはコンゴ民主共和国東部における軍事作戦の上級計画者である。

### 32. ジャミール・ムクル

Jamil MUKULU

(別名)ムシャラフ教授(Professor Musharaf), スティーブン・アリラバチ(Steven Alirabaki), デイヴィッド・チャグラニ(David Kyagulanyi), ムゼズィ・タレンゲラニミロ(Musezi Talengelanimiro), ムゼー・ツツ(Mzee Tutu), アブドゥラ・ジュンジュアカ(Abdullah Junjuaka), アリラバチ・チャグラニ(Alilabaki Kyagulanyi), フセイン・ムハマッド(Hussein Muhammad), ニコラス・ルウム(Nicolas Luumu), タレンゲラニミロ(Talengelanimiro)

(生年月日・出生地)1965年又は1964年1月1日, ウガンダ, カユンガ県(Kayunga), ンテンジュル郡(Ntenjeru), ントケ村(Ntoke)

(旅券・人定事項)民主同盟軍(ADF)の長, 又はADFの指揮官, ウガンダ国籍  
(指定の根拠)国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループ報告書を含む公開の公式な報告によれば, ジャミール・ムクル氏は, コンゴ民主共和国で活動する外国武装集団であり, 国連安保理決議第1857号4(b)の規定にあるADF兵士の武装解除及び自発的帰還・再定住を妨げているADFの軍事的指導者である。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループ報告書は同人はコンゴ民主共和国の領内で活動する武装集団であるADFに対し, リーダーシップと物資の支援を与えたと報告している。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループを含む複数の情報源は, 同人は国際的テロリスト・ネットワークとのつながりを監督することを含め, 現場のADFの軍隊の政策に影響力を行使し続け, 資金を提供し, 彼らの活動に対する直接の指揮と統制を保持しているとも報告している。

### 33. ンタボ・ンタベリ・シェカ

Ntabo Ntaberi SHEKA

(生年月日)1976年4月4日

(出生地)コンゴ民主共和国ワリカレ郡(Walikale)

(旅券・人定事項)マイマイ・シェカ・グループ、最高司令官、コンゴ民主共和国国籍。

(指定の根拠)マイマイ・シェカの政治部門の最高司令官であるンタボ・ンタベリ・シェカは、コンゴ民主共和国の武装集団の政治的指導者であり、兵士の武装解除、動員解除、再統合を妨げている。マイマイ・シェカはコンゴ民主共和国東部のワリカレ郡の基地から活動しているコンゴ民主共和国を拠点とした民兵集団である。

マイマイ・シェカ・グループはビジエ鉱山の接收、住民に対するゆすりなど、コンゴ民主共和国の東部の鉱山への攻撃を行った。

ンタボ・ンタベリ・シェカはまた児童を標的とした、重大な国際法違反を犯した。同人は、コンゴ民主共和国政府軍に協力していると見なされた地域住民を罰するため、2010年7月30日から8月1日までのワリカレ郡における一連の攻撃を計画し、指揮をとった。この攻撃の間に、児童が強姦・誘拐され、強制労働させられ、残虐、非人道的または品位を傷つけるような扱いを受けた。マイマイ・シェカ民兵集団はまた少年を強制的に徴兵し、徴兵期間の後も児童を軍に留め置いた。